

かみくげ 恐竜の里新聞

令和6年1月20日 発行・上久下恐竜の里づくり部会

第150号
上久下地域
自治協議会
0795-78-0001

新年の挨拶



上久下地域自治協議会
会長 野垣 克己

上久下地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新春早々に能登半島地震・羽田での日航機と海保機の衝突事故、思いもしない災害での年明けでした。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

日頃は自治協議会の諸活動に対してご支援・ご協力を頂いていることに感謝申し上げます。

振り返りますと、コロナウイルスも5類移行となりましたが、根絶に至らず未だ発症を見る情勢の中でこの卯年でありました。上久下地域の体育祭も、市内2地域のみでありましたが開催することができ、久し振りの体育祭で、地域の団結・懇親そして活力の根源を感じさせるものでありました。また、ユネスコ無形文化遺産登録になった檜皮葺・匠の技も、元氣村に於いて3年越しの「あずま屋」完成。式典には170名の皆さんが参集頂き、上久下村先人の技跡披露へ、地域活性への原動力となる1ページを創れた事は、意義深く感謝の言葉しかありません。そして、各種

の事業運営に尽力頂いた皆さんに感謝申し上げます。

今年も経済の回復兆しあるものの、諸物価の値上がり続くなかではありますが、地域の底力を発揮し、皆が「住んで良い・良かったと感じられる上久下」に、伝統や文化を守りつつ一歩前へ繋げられるよう事業の展開をして行きたいと思っております。自治協議会への更なるご協力をお願い申し上げます。本年も良い年になりますよう、皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

新しい年を迎えて



上久下自治会
会長 野見山 眞澄

上久下のみなさま、新年あけましておめでとうございます。明るく健やかな新年を家族揃って迎えになられたことと存じます。日頃より地域の自治会活動にご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。昨年は3年間猛威を振るった新型コロナウイルス禍の自粛した生活から漸く解放され、各地域のみなさまが対面で交流できるようになりました。春のさくらまつりや秋の地区体育大会など多くのふれあいの場で久し振りに出会い、元

気なお顔を見られてほんとうに良かったと思います。

休眠した状態から一気にいろいろな行事が計画されましたが、各自治会長や役員の方々の熱心な支えにより、久し振りに盛り上がった運営ができましたことお礼申し上げます。

本年もここ上久下地域を魅力ある住み易い地域にしていこうために、みなさまの一層のご協力を頂ければありがたいと存じます。今年も干支でいえば「甲辰(きのえ・たつ)」の年です。辰という神秘的な生き物にまつわる縁起の良い年回りだそうですね。災害の無い穏やかな1年になることを願います。

新しい年を迎えて



上久下小学校長
八尾 滋樹

元日に発生した最大震度7という巨大な地震により石川県能登半島はじめ、新潟・富山・長野・福井等々、震災でお亡くなりになられた方々に、心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。一日も早く、心安らぐ日が来ることをお祈り申し上げます。

さて、改めまして、新年あけましておめでとうございます。毎年のことですが、年が明けると気持ちも新たに、「さあ、頑張ろう」というエネルギーが心の底からわき上がってきます。ただ、ここ数年は何をするにも「アレ」のことが気になって、消毒だ、マスクだ、換気だと、手かせ足かせをされているような心持ちがして、手放して頑張ろう!とさえいえない雰囲気を感じてい

ました。用心に越したことはありませんが、もうそろそろ「アレ」を気にせず、いろんな事に全力を注げるのではないのでしょうか。

地域行事も学校行事も、ここ数年のブランクはありますが、コロナ後の新しい時代に相応しい新しい発想・方法・内容が求められています。これまでと同じがいいこともあれば、変えるほうがいいこともあります。コロナ禍を乗り越え、時代は確実に変わりました。三歩進んで二歩下がってもいいじゃないですか。辰年の今年こそは、着実に歩を進め、昇龍の如く、次の高みをめざしたいものです。

カフェお手伝いのお願い

上久下地域づくりセンターでは、毎月2回・火曜日に恐竜時計台のカフェを開催して、多くの方に親しみでもらい交流の場となっておりますが、ケーキを作ったりカフェの運営をお願いしていただきました村上和子さんが10月で引退されることになりました。村上さんには9年半もの長い間お世話になりましたこと、深く感謝いたします。

11月からは洋菓子店でケーキを仕入れて、センターのスタッフで開催しています。1・2月はお休みしていますが、3月から再開する予定です。ケーキ作りの好きな方、もしくはケーキは仕入れるけどカフェの運営をやってみてもいいよと言われる方が有りましたら、地域づくりセンターへお声掛けをお願い致します。詳細の説明はさせていただきます。お待ちしております。



丹波竜フェスタ大盛況

12月3日に山南住民センター前を会場にして「丹波竜フェスタ 2023」が開催されました。元気村かみくげからは化石発掘体験と恐竜焼きが出張して、賑わいに一役買うことができました。化石発掘体験は80名を定員にいたしました。化石発掘体験は80名を定員にいたしました。開始早々に完売する盛況で、恐竜焼きも沢山の方々に喜んでもらえました。



化石発掘体験は終始満員状態

午後からやまなみホールでシンポジウムが開催され、丹波市こども恐竜大使6人の竜学報告がありました。今回の竜学先は福井県勝山市で、

でも同士の交流や博物館の見学を行った感想を発表してくれました。その後、若手古生物学者4人の講演会があり、徳島県・岐阜県・福島県・兵庫県立人と自然の博物館から其々の最新研究成果を詳しく説明してもらいました。パネルディスカッションでは、兵庫県立大の池田先生がコーディネーターになり、「恐竜化石発掘現場と地域との関わり」をテーマとして話し合いが行われました。他地域の様子を聞くと、発掘調査の参加者は学生や愛好家を中心となっていて地域との関りは薄いようです。丹波のように素人達が発掘ボランティアを通じて化石を見る目を養ってきた例は国内でも珍しく、地域の熱量を感じる貴重な存在であるということが再認識できました。



竜学生たちが若手研究者に質問

5年生が檜皮葺の学習発表

12月14日に、上久下小学校5年生が檜皮葺の学習発表を行いました。5年生は3年間で原皮採取から檜皮成形、屋根葺きまで一通りの工程を学び、地元産業である檜皮葺きの素晴らしさや高度な技術を実体験してきました。そして、どうすれば上久下地域以外の人達に檜皮葺の魅力を知ってもらえるかを、皆で考えてくれました。檜皮葺きソングと体操、檜皮葺きガチャや檜皮葺きゲームなどを自分たちで作り、映像で分かり易く説明してもらいました。感想交流では「体操に屋根葺きの動作を取り入れてみては」というような改善案も提案され、実りのある学習発表になったと思います。



檜皮葺の研究成果を発表



賑わうグルメコーナー

ボランティアグループの活動

上久下ボランティアグループ（松原千代子代表）が、11月13日に地域づくりセンターで友愛弁当作りを実施しました。50食以上のお弁当を手際よく作り上げ、ケーキとミカンを添えて各自治会の独居高齢者宅を訪問。見守り活動を兼ねて声掛けをしてもらいました。年2回のペースで長年継続されていて、頭の下がる思いです。12月初めには地域づくりセンターの窓拭きもお世話になりました。寒いなか大変だったと思います。ありがとうございました。



友愛弁当作り



窓拭きもお世話になりました

2月・3月の予定

- ◆ 2月3日(土) 地域づくりセンター清掃 (青田・篠場)午前9時〜 午後7時30分
- ◆ 2月9日(金) 恐竜の里づくり部会 午後7時30分
- ◆ 2月15日(木) 自治会長会 午後7時30分
- ◆ 2月24日(土) 地域づくりセンター清掃 (阿草) 午前9時〜 午後7時30分
- ◆ 3月8日(金) 恐竜の里づくり部会 午後7時30分
- ◆ 3月16日(土) 地域づくりセンター清掃 (上滝) 午前9時〜 午後7時30分
- ◆ 3月21日(木) 自治会長会 午後7時30分
- ◆ 3月12日(火)・26日(火) 恐竜時計台のカフェ 午前10時〜

手作り味噌・生麴 販売中

元気村かみくげで販売中の、味噌と麴の紹介をします。

◎手作り味噌

地元産大豆、食塩、米麴のみで仕込んでいますので、味噌独特の風味が味わえます。良質な米麴を通常の2倍使用しており、甘みと旨味が調和し料理の素材を引き立てます。

通年販売 50g ↓ 350円、1kg ↓ 700円

◎生麴

元気村の専用加工室で手作りしたお勧めの麴です。砕けた米は使わず、丸い粒のしっかりした地元丹波米のみを使用した香り高い本物の麴です。

1月から販売開始 1kg ↓ 1,200円

両方とも、土・日・祝日に元気村かみくげで販売しています。

☆時間は10時〜15時頃まで

☆電話注文も承ります。

78-0003 (土・日・祝)
78-0001 (月〜水、金)

